

## 中村雅秀先生と柳ヶ瀬孝三先生をお送りするにあたって

経営学部長 齋 藤 雅 通

中村先生は1989年から20年間本学に勤務された後、2009年4月から金沢星稜大学の教授に就任されています。柳ヶ瀬先生は、1976年から34年間の長きにわたり本学経営学部に勤務し、2010年3月末にめでたく定年退職されることになりました。お二人は、私たち経営学部ならびに経営学研究科の発展に多大な貢献をして頂きました。その功績に改めて思いをいたすとともに、私どもの深甚の謝意を表しつつ、ここに『立命館経営学』の退任記念号を謹呈させていただきます。

中村先生は、1968年に同志社大学法学部をご卒業後、会社勤務を経て京都大学大学院経済学研究科に進学され、1977年3月に満期退学された後、阪南大学商学部に勤務されました。1989年4月に立命館大学国際関係学部教授として赴任された後、ご縁あって2000年4月に経営学部に赴任されました。本学で、中村先生は国際課税論などの専門科目をご担当され、熱心に学生の教育に当たられました。研究面では、世界経済論や国際税制、国際移転価格の分野の学術的な研究によって、わが国の当該分野の研究の発展に尽くされました。また日本流通学会設立発起人会事務局長やNPO法人「美しいふるさとを創る会」（京都府宮津市）顧問などで活躍されました。さらに先生は、大学の運営面でも国際関係研究科設置委員会事務局長や立命館アジア太平洋大学設置準備委員会事務局長などの大任を果たされました。

柳ヶ瀬先生は、1968年に京都大学経済学部を卒業され、同年京都大学大学院経済学研究科へ進まれ、71年6月に同大学経済学研究科博士課程を退学されて翌7月から愛媛大学法文学部助手に就任され、ご研究を積み重ねられました。1976年4月にご縁あって立命館大学経営学部に助教授として赴任され、その後85年4月に教授に昇任され、現代資本主義論をはじめ、現代世界経済論、パブリック・ファイナンス、公共サービス経営論など多くの専門科目をご担当されて、熱意ある教育活動に従事されてこられました。その間、現代資本主義論、財政・金融、教育問題など幅広く理論的実証的研究を進めてこられました。また大学運営面でも、全学公費助成連絡協議会代表補佐や教学部次長、調査企画室長、大学教育研究室長などの役職を通じて大学の発展に貢献されてこられました。

両先生は、経営学部および経営学研究科の教学の発展に尽くされました。改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、両先生におかれましては、いつまでもお元気でご活躍されますよう祈念申し上げますとともに、今後のご研究の発展を願ってやみません。さらに、本学ならびに経営学部に対して、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

